

### 北平入城開始の我軍を 突如門を閉ざし城の内外に二分

#### 城壁上より我に不法射撃

#### 我方の戦死傷十数名

### 支那軍の怯懦 天人共許す

(北平廿七日) 居留民の報に河内縣河、寺平補佐官午後九時偵察隊の交渉に赴き廿九日午後六時突如門を閉ざし城の内外に二分、城壁上より我に不法射撃、我方の戦死傷十数名、(天津廿七日) 我が駐屯軍は廿九日、断乎脅威の攻撃を加ふ、通州駐屯の第廿九軍に、我が賀屋島部隊飛行隊と協力、北平城内外の分廿九軍、各国外使館区域を包圍の体形、米國駐屯軍騎馬兵を射撃、血迷へる支那兵、米國駐屯軍騎馬兵を射撃、

### 帝國政府の主張容れられず 軍は遂に自衛行動を取るの止むきに至る

#### 明聲の府政國帝

(東京廿七日) 政府は二十七日貴院本会議終了後午後八時、更に折衝を重ねた結果、午後八時に至り城門を開いたため、我軍は直に入城を開始した。約三分の一通過した際、支那軍は突如門を閉ざし、我軍が城外城内に二分し、城壁上より不法射撃を加へた。我軍はこれを不法射撃と見做し、町内各地に散兵線を引き、約五時、支那軍は午後八時より同九時過ぎ迄数回に亘り、機銃銃迫撃砲の猛射を浴びた。事件勃発

は廿九日軍額同標井少佐が、同少佐と同行の川村通訳は戦死、又同盟通信社三木秀真社員は重傷、丁のトキー字真班安見映画計員は軽傷を受けた。退要求に対し不遜態度に出で、我が賀屋島部隊は廿七日午前六時半突如解除を要求せるも之に應ぜざるのみならず不法射撃を加へるに至つたため、同部隊は飛行隊と協力断乎脅威の攻撃に出で、前々時その大部分に致命打撃を加へた。同戦闘で我方は戦死士官一員、傷士一、下士官兵十名内外に達した。

北平城内外の分廿九軍、各国外使館区域を包圍の体形、米國駐屯軍騎馬兵を射撃、血迷へる支那兵、米國駐屯軍騎馬兵を射撃、

すして今日に及べり、一方帝國政府は七月十七日南京政府に対し、地解決を切望せざるやう注意を喚起したるも南京政府は現実の事態を無視し帝國政府の主張を容れず却つて益々戦備を整へ、危々不安を増大せしむるに至れり、然れども帝國は尚ほ隠忍平和的解決に努力中、支那側は七月廿六日即ち於て電線修理に任ずる我が部隊は不法射撃を加へ、更に同日夕居留民保護のため偵察隊の諒解を得て北平城内外に入城し、我が部隊は突如城門を閉鎖し不意に射撃するの暴挙に出でたり、右兩事件たるや我が駐屯軍本然の任務たる北平天津間の交通線の確保及び居留民の保護に對する支那軍の武力妨害にして、今や軍はこの任務遂行並に協定事項履行確保に必要なる自衛行動をとるの止むきに至れり、固より帝國の期するところは今次事件の如き不祥事發生の根因を排除するにありて、善良なる民衆を敵視するものに非ず、又帝國は何等領土の企図を有せず且つ列國の權益保護には最善の努力を惜しまざる事勿論あり、東亞の平和確保を使命とする帝國は幸ひ、に至るも今尚ほ天那側の反省に依り局面を最小の範圍に限定し、速かに圓滿なる解決を見んことを切望するものなり。

書記官長談、北支の安定は帝國の常に至るべき

議院本院議衆の日七廿

北支事變の緊迫化に 議員も極度に緊張

近衛内閣の第一聲

(東京廿七日)廿七日衆議院本会議は午後一時開議...

議員、一時十三分小山議長開会宣言し議長席に起立して本日午前...

各派共同提案として 政府鞭撻決議案

本議会上に提案せん

(東京廿八日)重大化した北支事變に對し一兩日衆議院各派共同提案...

英支借款成立せず 英支那の無謀な提案を蹴

(上海廿八日)北支事變案に對し英支借款の成立は...

北支事變戦死傷者

(廿八日陸軍省発表)七月七日北支事變勃発の夜から廿七日正午迄...

小泉策太郎の遺言

小泉策太郎の遺言、久しく療養中の小泉策太郎氏は廿八日朝病態...

池田日銀總裁辭職 後任は結城前藏相に決定

(東京廿八日)日銀總裁池田成彬氏は昨日病状のため二十六日如賀屋藏相に對し辭表を提出したため...

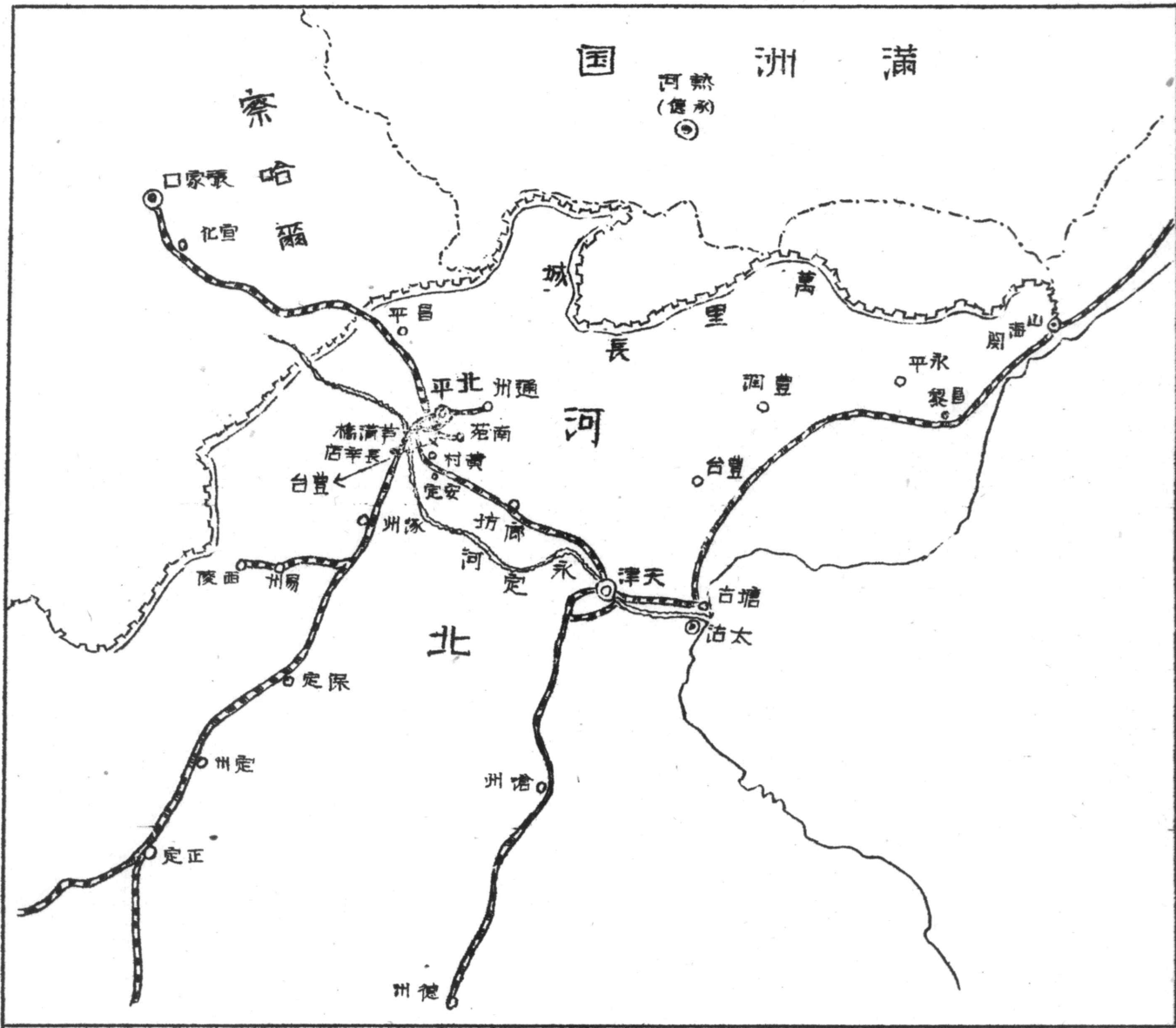
商船着発

Table with shipping schedules: 商船着発, りぶらた丸, はわい丸, 還曆祝ひ

集つたり熱誠のめり 恤兵義捐金四千ペソ突破

北支事變出征軍兵義捐金募集表発表される、や在亞同胞の熱誠なる愛國心は果敢に打ち立てられ...





**北平附近の戦況概略**

(天津廿八日) 支那駐屯軍発表より、北平附近の戦況概略、

一、川岸部隊の高木部隊は廿七日午後三時頃より行宮(南苑)南方五村の支那軍を攻撃、七時過ぎ河地を占領した。

二、坂口上米三輪の各飛行部隊は廿八日早晩、清苑南苑の支那軍に爆撃を敢行した。川岸部隊は午後一時過ぎ南苑を占領した。

三、西井部隊は廿八日午前十時半、沙河(北平北方二十村)を占領した。

四、陸軍部隊は廿八日正午、清河鎮(北平北方十村)の支那軍を攻撃し、午後二時半を占領した。

以上の如くして、頑迷な支那軍は九軍と僅か半日、しかも我が銃録の

前にその主力部隊は徹底的打撃を蒙るに至つた。

△(北平廿八日) 清苑の敵を殲滅し完全な之を瓦解せしめた我軍は午後一時長辛店方面に向け退却中の敵に爆撃を加へ追撃戦に移り、一方我軍部隊は龍門至一帯に用いた爆音砲は一連の音とあつて北平城を物置くやむを得ざる。

**各国駐屯軍代表の物々**

(北平廿八日) 暴辰する支那軍は、交民巷を攻り、また各要所及び高層建築物に機関銃を備へ、ついで敵軍を交民巷に向けつゝ、各隊は河地と橋脚防衛の立場から我が軍に協力し、殊にアメリカ駐屯軍は最も野意を示し積極的連絡を求めつゝ、あり、目下のところ交民巷の防衛は完全である。△支那軍の血塗はがりは何時如何なる不祥事件を惹起するかと計らひ、支那側に外人隊の責任等、相互に責任を認め、各隊大砲は、若くは民引揚、命令を各、民民を夏交、民民を自動、軍で收容し、對めら。

**地名支那讀**

北平	PEIPIN
保定	ANTING
天津	CHAN SIN TEN
保定	LANG FANG
保定	TIEN TSIN
保定	SHANG HAI KAN
保定	TONG KU
保定	YUNG TING HO
保定	FENG JUN
保定	FENG TAI
保定	HIMANG TSUN
保定	TUNG CHOW
保定	LU KOU CHIAU

**人名支那讀**

石	CHANG KAI SHEK
宋	SUNG CHEH YLIAN
何	HO YING CHIN
陳	CHIN TE CHUN